

Miyagi gakuin presents



THINK NOW
ハンセン病

GLOBAL APPEAL 2015




入場無料

人類が抱える「差別」という病
ハンセン病の「いま」を知り、私たちができることを考えてみませんか？

世界ハンセン病の日

講演会

ハンセン病は、かつて「らい病」と呼ばれ、恐れられてきた感染症です。感染力はごく弱く、健康な人が発症することはありません。しかし、治療が遅れると顔や手足などに変形をもたらすため、患者やその家族たちは何世紀にもわたり社会的差別を受けてきました。治療が確立され完治する病になった現在でも、患者や元患者たちに対する社会的差別の問題は根強く残ったままです。

世界中の人々がハンセン病の問題についての理解を深め、差別や偏見を無くす努力が必要であり、ハンセン病について考えることは、人の尊厳について考え、人との関わり方を再確認することにつながります。

講演会の講師には、ハンセン病についての正しい知識や情報の普及・啓発に尽力されている、公益財団法人笹川記念保健協力財団理事長の喜多悦子氏をお迎えし、ハンセン病についてはもちろん途上国における国際的な公衆衛生活動についてもお話しいたします。

この機会にぜひ講演会に足をお運びください。



- ◆ 日 時: 2015年2月6日(金) 12時40分~14時
- ◆ 場 所: 宮城学院女子大学 講義館C203教室 (仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号)
- ◆ 講 師: 公益財団法人笹川記念保健協力財団 理事長 喜多悦子氏

お申し込み方法 必要事項をお書きの上、このままFAXいただくか、大学ホームページ、メールにてお申し込みください。

氏名	フリガナ	電話番号	来場 予定者数	名

【お問い合わせ・お申し込み】 宮城学院女子大学 リエゾン・アクション・センター(MG-LAC)
 TEL 022-279-1340 FAX 022-279-5876 大学ホームページ <http://www.mgu.ac.jp/> E-mail lac@mgu.ac.jp